

No 1540

# 子ども平和フェスティバル

— 横 浜 —

「世界の子どもが手を結び平和な世界を築き上げよう」、と国際平和年を記念した「よこはま子ども平和フェスティバル」が11月16日横浜の新都市ホールで開かれました。

フェスティバル実行委員会などのあいさつのあと市内の小・中・高校生から募集した応募総数5万4千点の中から選ばれた平和を訴える作文、絵画、歌の入賞者を表彰しました。

会場では市内の中学生によるジャズバンドの演奏や、フィリッピンの子どもたちのバンブーダンスなどが行なわれました。

つづいて国連のデクエヤル事務総長にあてた「子ども平和メッセージ」を発表。

11月17日から国連へ向う「子ども平和大使」14名の活躍が期待されます。

# 下 町 復 活

— 東京・深川 —

江戸の下町を見直そうというのか新しく綿糸町駅前に開店したデパートには「江戸の道具屋」のコーナーが設けられ、下町っ子が使って来た暮らしの道具が売り出されています。

また男顔負けの技と心意気をもつ女職人の実演も開かれました。

江戸時代から続く人形づくりや象牙細工など、女性らしい手仕事に江戸のよさを売りこんでいました。

一方江戸時代の下町の街並みをそっくり再現したのが、11月16日江東区白河町にオープンした深川江戸資料館。

建物はすべて当時の資料を基に実物大に復元したもの。猪牙舟、長屋、10メートルの火の見やぐらを始めかまどや長火鉢も昔のまま。この展示館だけで6億円。

江戸時代にタイム・スリップ出来るとあって下町ムードをより高めそうです。